



平年より多い花粉シーズン

空気清浄機はどこに置くのが正解？ 住宅のプロが教える花粉撃退法

業界初の個人向け不動産コンサルティング・ホームインスペクション（住宅診断）、マンション/管理組合同向けコンサルティングを行う“不動産の達人” **株式会社さくら事務所**（東京都渋谷区/社長：大西倫加）は、花粉症シーズンでも家の中で快適に過ごすためのポイントについて、サイト内に公開いたしました。詳しくは下記コラムをご覧ください。いただき、本件に関する取材やご質問がございましたらお気軽にお問い合わせください。

日本気象協会によると、今季は平年よりも暖かい日が続いたことにより、花粉が大量に飛散し、一部地域では平年の**3倍以上の飛散量**とされています。家の中にいるから症状が出ないかという全くそうではなく、家の中にいても症状に悩まされている方は大変多いです。そこで、住宅のことを知り尽くしたホームインスペクター（住宅診断士）が、花粉症シーズンでも家の中で快適に過ごすためのポイントについてまとめました。



住宅のプロはこうやって花粉の侵入を防ぐ！&侵入した花粉を除去する！

■給気口用の花粉フィルターを設置した24時間換気を活用し、窓開け換気は極力しない

2003年以降の住宅であれば、24時間換気システムが設置されていますので、それをきちんと作動させることで、窓を開けなくても2時間に1回部屋の空気が入れ替わります。その際、給気口用の花粉フィルターを設置しておくことをおすすめします。ただ、こちらは1か月に1度を目安に交換するようにしましょう。換気すらしたくない！という気持ちもわかりますが、換気をしないと室内の空気が汚染されたり、湿気が溜まってしまふことで、カビやダニの発生を誘発する可能性があるため、一切換気をしないのはおすすめしません。

■石油ストーブの使用は極力避け、できるだけ冷暖房はエアコンを使用する

石油ストーブ等を使用することで、室内のCO2濃度の上昇等、室内の空気汚染が花粉症を悪化させる可能性があります。そのため、花粉症の時期はできるだけ使用を避け、室温調整は室内の空気を汚さないエアコンで行うのが無難と言えるでしょう。エアコンを使用する際は、こまめにフィルターを掃除する、または花粉除去フィルターを付けるようにしましょう。

■空気清浄機は窓やエアコンから離して壁際に設置する

空気清浄機は窓の近くに設置すると、吹き出し口から出てくる風で、窓付近の花粉をかえって拡散させてしまうことになるので要注意です。同じ理由で給気口の近くに置くのもNGです。花粉は壁際の床に落ちやすいこともあり、窓の正面にあたる壁の隅に設置することが望ましいです。また、エアコン使用時はエアコンの気流の邪魔にならないよう、エアコンと反対の壁際、できれば対角線上に設置するのがベストです。

■壁際の床を中心に拭き掃除をする

室内に侵入した花粉は壁際に落ちます。それをいきなり掃除機で吸ってしまうと、排気によって花粉が部屋中に舞い散ってしまうので、壁際を中心にまずは拭き掃除をしてから、掃除機をかけることをおすすめします。

詳しい解説はHPでご紹介。取材での解説もお受けしております！ <https://www.sakurajimusyo.com/guide/34181/>

■不動産の達人 株式会社さくら事務所■（東京都渋谷区/代表取締役社長：大西倫加） <https://www.sakurajimusyo.com/>

株式会社さくら事務所は「人と不動産のより幸せな関係を追求し、豊かで美しい社会を次世代に手渡すこと」を理念として活動する、業界初の個人向け総合不動産コンサルティング企業です。1999年、不動産コンサルタント長嶋修が設立。第三者性を堅持した立場から、利害にとらわれない住宅診断（ホームインスペクション）やマンション管理組合同向けコンサルティング、不動産購入に関する様々なアドバイスを行う「不動産の達人サービス」を提供、60,000組超の実績を持っています。

本件に関するお問い合わせは、お気軽に下記までご連絡ください。

株式会社さくら事務所

東京都渋谷区桜丘町 29-24 桜丘リージェンシー101

<https://www.sakurajimusyo.com/>

TEL 03-6455-0726

FAX 03-6455-0022

広報室：堤 press@sakurajimusyo.com